

第11回大阪地区渋滞対策協議会

【主要渋滞箇所の見直し(案)】

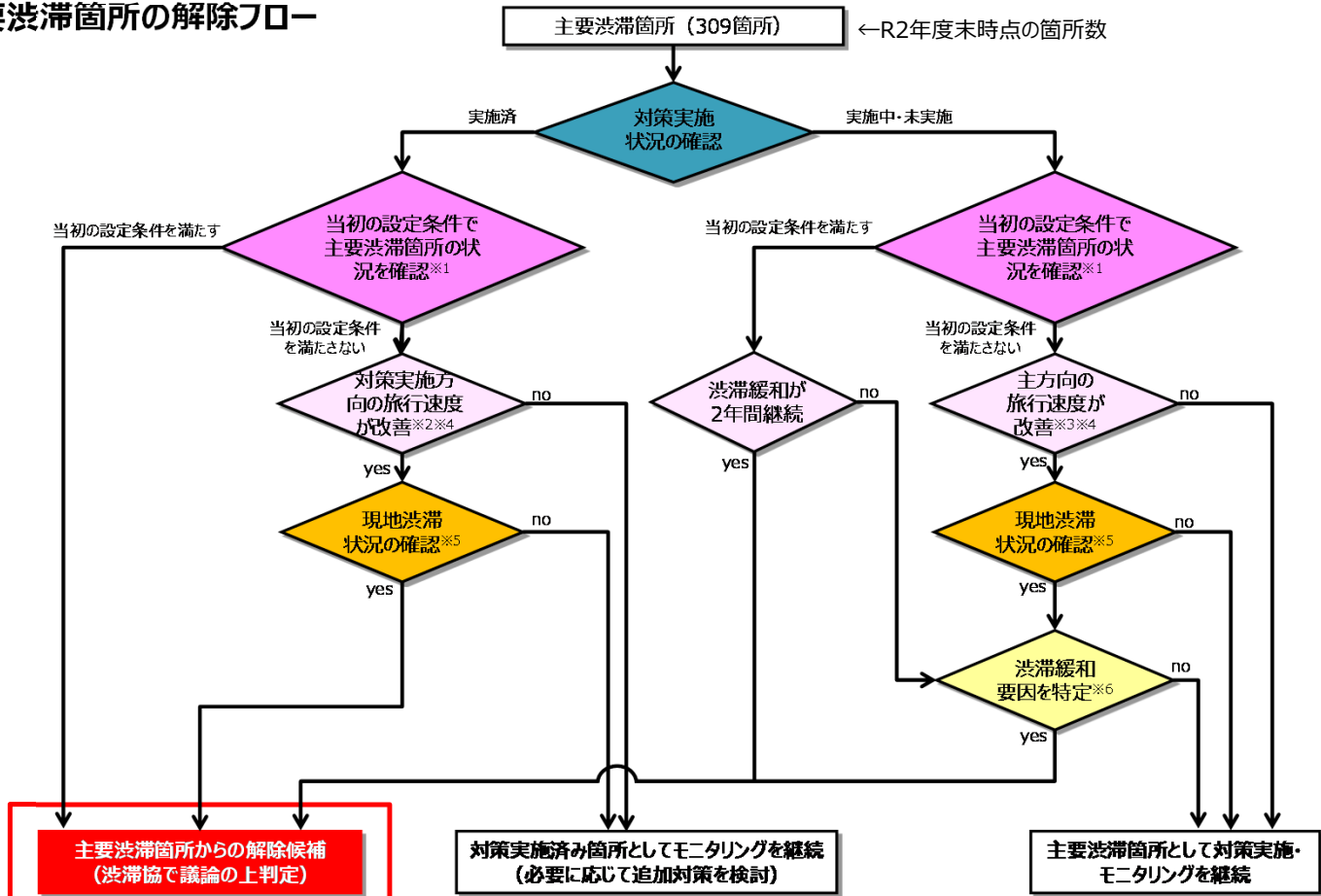
令和3年8月2日

1. 主要渋滞箇所の解除フロー

■大阪地区の主要渋滞箇所解除フロー

・大阪地区では、H24年度に主要渋滞箇所327箇所を選定し、R2年度末までに計18箇所を解除。
 残る主要渋滞箇所309箇所に対しては、引き続き、対策実施状況を考慮した上で、交通ビッグデータによる速度状況のモニタリング、
 現地渋滞状況の確認等を行い、**主要渋滞箇所の解除を検討する。**

▼主要渋滞箇所の解除フロー



▼これまでに解除した主要渋滞箇所一覧

開催時期		解除箇所
年月	渋滞協	
H26.1	第1回	—
H27.8	第2回	—
H28.7	第3回	—
H29.8	第4回	—
H30.8	第5回	池上町、荒木町、富田丘町、モール北、 寿町1、<踏切>近鉄奈良線若江 岩田第1号、川西南、戎町
H31.3	第6回	—
R1.8	第7回	寝屋東、土生町2丁目、みのり橋南
R2.2	第8回	<踏切>南宮原
R2.8	第9回	小路北、吹田内本町
R3.2	第10回	寝屋川公園南、下味原、 浜寺南町3丁、桃園町

これまでに計18箇所を解除

[解除候補箇所]
 渋滞が軽微であり、今後の対策検討
 ・対策実施の必要性が低い箇所

- (※1) 最新データで主要渋滞箇所選定時の基準をクリアしている
- (※2) 主要渋滞箇所選定時と最新年の交通データを比較し、対策実施方向の旅行速度が改善
- (※3) 主方向の旅行速度が20km/h以上（踏切は10km/h以上）
- (※4) 交差点間隔が密な場合など、リンク長が短いことによりデータ上旅行速度が低下している箇所については、現地渋滞状況を確認する
- (※5) 全方向の信号待ち回数が1回以下など個別確認
- (※6) 交通量の変化、周辺状況の変化等から渋滞緩和の要因を特定

3. 主要渋滞箇所からの解除候補箇所の検証

<踏切>久米田北一

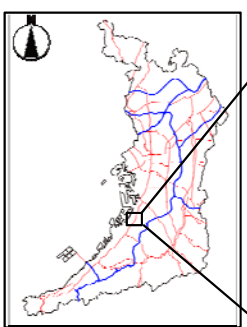
- JR阪和線の「和泉府中駅」と「久米田駅」の間にある「<踏切>久米田北一」は、**対策未実施であるものの、当初の選定条件を満たしている。**
- 直近2年間の旅行速度に基づく評価では、**渋滞緩和が2年間継続**しているため、「**解除候補箇所**」として位置付ける。

- 対象箇所 : <踏切>久米田北一(197)
- 所在地: 岸和田市
- 対策状況: 未検討
- 実施主体: 大阪府
- 選定理由: 踏切

・混雑時平均旅行速度が10km/h以下

※箇所名の後の()内は選定当初に公表した番号を示す。

<位置図>



【旅行速度変化】

2年連続で旅行速度が10km/h以上

方向	路線名	R1(前回)	R2(今回)
方向1	(一)春木大町線(旧)	12.1 km/h	12.5 km/h
方向2	(一)春木大町線(旧)	16.4 km/h	16.0 km/h
方向3	<鉄道>JR阪和線	-	-
方向4	<鉄道>JR阪和線	-	-

速度データ: R1、R2の9-11月(平日)

渋滞緩和が2年間継続

解除候補箇所として位置づけ